

男 女 共同参画

あすてっぴ

～誰もが自分らしく輝くために～

いくつ知ってる？

それぞれのシンボルマークの名前と解説は次ページへ



いくつ知ってた？ 答え合わせとマークの解説



① マタニティマーク

妊娠中の女性がカバンや身につけるマーク。外見からわかりにくい妊娠初期の体調不良などにも配慮を促す目的で配布される。



② 聴覚過敏保護用シンボルマーク

発達障害や神経の病気などで、苦手な音がある人が耳を守るための保護具「イヤーマフ」を装着する際、音楽用のヘッドフォンではないことを示すマーク。



③ ハート・プラスマーク

内蔵や免疫系の障害や疾患（難病やその他内蔵機能疾患）を持つ人が見た目だけでは障害を持っていることがわからないため、優先席や障がい者用駐車場などを利用することに対する理解や協力を促すもの。



④ 子ども用車いすマーク

「子ども用の介助式車いす」であることを示すマーク。ベビーカーと誤認されて必要なサポートが受けられない、介助者が心無い非難を受ける…などの心理的負担を軽減するための啓発を目的としている。



⑤ ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している、内部障害や難病の人など、外見ではわかりにくい疾患や持病を持つ人がつける。、東京都福祉保健局が作成したマーク。東京以外の地域でも徐々に広がりつつある。



⑥ 身体障害者標識・聴覚障害者標識

肢体不自由や聴覚障害のため、条件付き免許証を交付されている人の車に表示するマーク。このマークの車に幅寄せ等を行うと、道路交通法により罰せられる。



⑦ 介護マーク

介護者や在宅介護をしている人を支援する目的で、静岡県が作成、厚生労働省が普及をはかっている。公共トイレでの介助や、男性の介護者が女性の要介護者の下着を購入する場合など周囲に理解を求める目的もある。



⑧ 耳マーク

聴覚障害者は障害そのものが見た目ではわかりにくいいため、周囲に「聞こえない」ことを知らせて、筆談などのサポートを受けやすくするために考案されたマーク。

世の中にはいろんな「ヘルプ」を必要としている人がいます。
あなたが知っているマークはいくつありましたか？
ヘルプマークへの理解が広がることで、お互いを思いやり
困っている人を助け合う社会へとつなげていきましょう。



突然ですが…その関係は「対等」ですか？ あなたと私のDV危険度チェック!!

殴る・蹴るだけが暴力じゃない。普段の自分に心当たりはありませんか？

〈人はそれを「モラハラ」と呼ぶ〉 精神的暴力

- 「お前はダメだ」「デブ」など、いつも馬鹿にされる
- 高圧的な態度を取られる、すぐ怒鳴られる、物に八つ当たりされる
- 上手くいかないことは全て自分のせいにする
- 気に入らないことがあると長時間無視される
- 弱みに付け込んで攻撃される、脅すようなことを言われる
- 友達や家族の事をけなされる、バカにされる



〈いやよイヤよは…嫌なんです！〉 性的暴力

- 嫌だと意思表示をしても性的な行為を強要される・やめてくれない
- 性的な動画や画像などを無理やり見せられる、撮影される
- 避妊に協力してくれない
- 嫌悪感や身の危険を感じるような性的指向を押し付けられる



〈束縛、それは愛…ではありません、絶対に〉 社会的暴力

- 友達・家族との付き合い、外出を制限される
- 携帯や、メール、SNSの内容を勝手に覗き見られる
- 着信やメールをすぐに返信しないと機嫌を損ねられる
- 1日中、時間帯などお構いなしに（何回も）メールや電話がくる
- 私の行動を相手に逐一報告させられる



〈お金の問題もなかなか深刻です〉 経済的暴力

- 生活費として必要な金額を負担してもらえない
- お金が足りないで働こうとすると、妨害される
- 勝手に借金されたり、相手の借金を代わりに返済させられた
- 自分のお金を勝手に使われる、またはたびたび無心される
- 何かと理由をつけてプレゼントをねだられる・高価なものを買わされる



〈今すぐ二人の関係を見直して！〉

- 相手から「怖い」といわれた・相手のことを怖いと感じる

あなたは1つでも心当たりや、当てはまるものがありましたか？
DVはあなたが思っているよりずっと身近で起きていることかもしれません。

裏面へ続く

「DV（ドメスティックバイオレンス）とは何か？」

「DV」とは「日本では『配偶者や恋人など、親密な関係である、またはあった者から振られる暴力』という意味で使用されることが多い（内閣府男女共同参画局HPより引用）」とされています。

暴力とは身体を傷つけることを連想しがちですが、実際はそれだけではありません。

精神的に追い詰めたり、社会生活に支障が出るよう行動を制限したり、経済的に搾取・困窮させたり、同意がないのに性的な行為を強要したり…

「相手は自分より劣っているから、教えてやっている」「自分のことを好きならすべて従うべき」という押し付けや「嫌だと言っているけど、本当はそんなこと思っていない」という、自分勝手な都合のいい思い込みが、相手の心や身体、時には社会的な信用も傷つけているのです。

「好きだから」「愛してるから」は言い訳にもなりません。

あなたと、あなたの大切な人のために…前頁のチェック項目に1つでも該当するものがあったら、二人の関係をもう一度見直したり、だれか信頼できる人に相談しましょう。

もう、ひとりで悩まないで…

大好きだった相手が「ちょっと変」「なんだか怖い」と思った時、「自分が悪いから」とか「こんなことくらい誰でもあるよね…」なんて思ったりしてませんか？

「嫌なことは嫌だ」と言ってい。だって「あなたの心と体はあなたのもの」だから。でも…友達や、家族に相談したら「そんな相手とは別れなよ」と言われてしまいそう、こんな事を話すと軽蔑されるんじゃないか、恥ずかしい内容だから誰にも相談できない…

そんな時に、思い出してほしい場所があります。

ひとりぼっちで苦しまなくていいんです、一緒に考えて笑顔を取り戻しましょう。

別府市男女共同参画センター

「あすべっぷ 電話相談」

毎週火～土曜日 9:00～17:00

0977-21-7820

- 秘密厳守・女性相談員が対応します
- 相談内容により適切な専門機関を紹介します

【編集後記】 2019年10月、別府はラグビーワールドカップで盛り上がり町には外国人があふれていました。そのわずか一年後、外国人どころか他県の人も訪れず、別府市民でさえも外出がままらなくなってしまうとはだれが想像できたでしょうか…。

新型コロナウイルス感染症で発生する問題点は数多くありますが、女性をめぐる問題も表面化しています。国民一人に一律10万円を給付する「特別定額給付金」の世帯主限定配布問題や、外出自粛や休業などによる生活不安やストレスからくる暴力(DV)の増加等々。このパンデミックで困難を極めている女性がさらに増加しています。これを女性の問題ではなく社会全体の問題として考えていかなければならないと改めて思いました。

発行：別府市自治振興課 男女共同参画推進室 〒874-0903別府市大字別府字野口原3030番地16

編集：あすてっぷ市民編集委員 田染睦美・馬場美江

TEL 0977-21-8289 FAX 0977-21-9042 Eメール asubepu@city.beppu.lg.jp